



プログラム名		落ち葉のファッションショー							
対象年齢		年長（5～6歳）							
ねらい	メッセージ	自然の変化に気づき、今しかない色を感じよう							
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 葉っぱの色の変化や形の違い ・ 葉っぱの感触 ・ みんなで1つのものを作り上げる喜び 							
参加者のめやす		幼児 35人		/		支援者 4人			
実施時間		30分							
フィールド									
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園		
実施可能時期									
自然を感じるためのヒント									
時間		活動			配慮・アドバイス アレンジ				
5分		グループごとに集まる			<p>事前に色や形の違いがわかる葉っぱを準備し、違いがわかるようにします。 (例)「この葉っぱは前はどんな色だったかな？」 「同じ葉っぱでも色が違うね」</p> <p>グループで1つの服を作ることを伝えます。 白いビニール袋の服を見せて、やってみたいという活動への意欲がわくようにします。</p>				
5分		葉っぱを集める ・ 白い布の上に並べる			色や形ごとに分けると見分けやすいことを伝えます。				
									
10分		葉っぱを白いビニール袋の服に貼り付ける			グループごとに工夫しているところを認めます				

時間	活動	配慮・アドバイス アレンジ
10分	<p>ファッションショー ・グループごとに完成した服を見せ合う</p>  <p>ふりかえり</p> 	<p>良いところや工夫をしているところを紹介し、互いに認め合える場にしましょう。 雰囲気盛り上がるように、事前にステージの飾りつけをしておきます。</p> <p>時間があれば子どもたち自身で工夫したところを発表しましょう。 ファッションショーを盛り上げるため、全員で歌を歌うのもいいでしょう。 (例)「まっかな秋」など 衣装を着た子どもたちが全員ステージに出ると、グループごとに作成した衣装の違いがわかります。</p> <p>できあがった服は保育室に飾ることを知らせ、これからの葉っぱの色の変化に興味をもてるように話しましょう。 (例)「今度保育園に来たときは、どんな色になっているかな？」 「今日触った葉っぱの手触りは、今度園に来たときどうなっているかな？一緒かな？違うかな？」</p>
<p>【異年齢への対応】 二歳児： あらかじめ袋に両面テープを貼っておき、葉っぱを貼るだけにしておきます。葉っぱを集める日と服を作る日は別の日にします。</p> <p>年少：ベルトやブレスレットのような小さいものを個別に作ることはできます。</p> <p>年中：時間をかければ同じ活動ができます。</p>		
<p>【園や家庭に帰ってから】 保育室に出来上がった服を展示し、色や形の変化を見てみよう。 居住地域や周辺の落ち葉にも関心を持ち、遊んでみよう。 図鑑で服につけた葉っぱや木のことを調べてみよう。</p>		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・白色のカラーポリ袋（服の形に切ったものをグループ数） ・白い布（グループ数） ・麻紐（作成した服の腰紐にします。グループ数） ・セロハンテープ（グループ数） ・ブルーシート ・ゲームボックス（4台：舞台に使います） 	

